

徳島県英語教育改善プラン骨子(案)

平成28年2月定例会(事前)
文教厚生委員会資料
教育委員会

1 基本的事項

(1) 趣旨

グローバル化が進展する社会を生き抜く人材を育成するため、生徒の英語力に係る目標を設定し、県内全域で計画的、組織的に取り組む「英語教育改善プラン」を策定する。本プランは、「徳島教育大綱」、「徳島県教育振興計画(第2期)」における英語教育の取組をより一層推進するための計画とする。

(2) 計画期間

平成28年度から平成32年度まで(5年間)



2 現状

- 生徒の英語力について、全国平均を上回っているものの、「話す」「書く」の伝える能力を伸ばし、4技能をバランス良く身に付ける必要がある。
- 教員の英語力について、全国平均を上回っているものの、英語での授業促進などにより、指導方法を改善する必要がある。

※ 英語4技能:「聞く」「話す」「読む」「書く」

「英語教育実施状況調査」結果では...

生徒の英語力

【求められる英語力を有する生徒の割合】

中学校卒業段階: 英検3級程度以上
徳島県中3生...34.7% ※全国34.6

高等学校卒業段階: 英検準2級程度以上
徳島県高3生...33.5% ※全国31.9

教員の英語力・指導力

求められる英語力を有する教員の割合

(英検準1級～、TOEIC730点～、TOEFLiBT80点～)
中学校教員...35.6% ※全国28.8
高校教員...60.2% ※全国55.4

授業中の英語使用(発話)50%以上の割合

中学校教員...45.0% ※全国49.1
高校教員...60.4% ※全国48.2

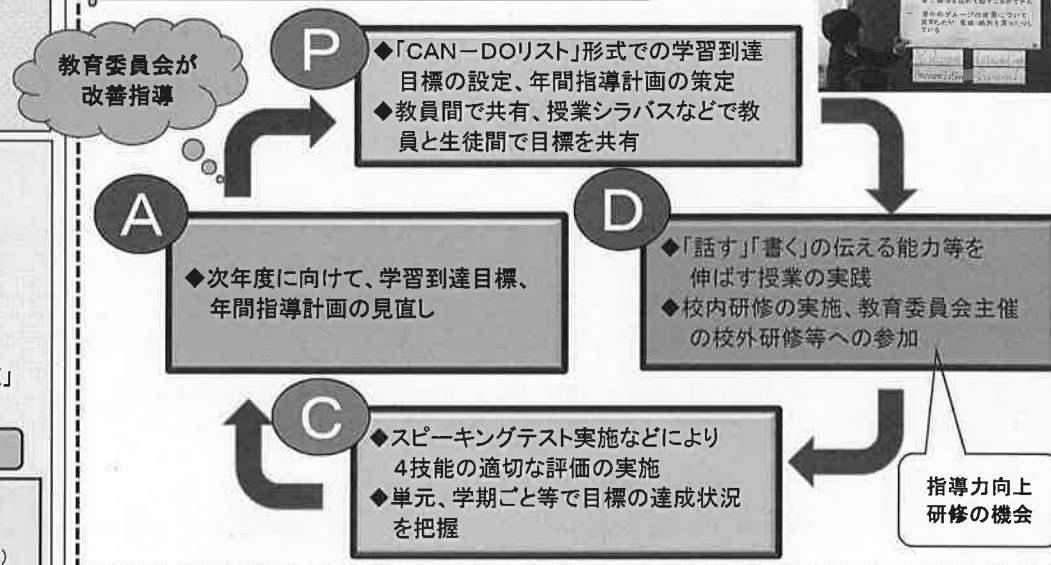
3 課題と今後の方向性

- 英語で「伝える能力」等の育成に課題があるため、「CAN-DOリスト」形式での学習到達目標等の整備に優先的に取り組む。
- 教員の英語力・指導力に改善すべき点があるため、教員の英語力を高めるとともに、教員研修の充実に取り組む。
- 小学校英語の早期化・教科化などを見据えて、児童生徒が英語に触れる機会を充実するため、外国人との交流促進に取り組む。

4 今後5年間で重点的に取り組む施策

① 「CAN-DOリスト」形式での学習到達目標の設定・公表・達成状況の把握 (入学から卒業まで、指導のPDCAサイクル構築)

各学校における指導のPDCAサイクル



② 教員の指導力・英語力強化のため、教員採用段階で英検準1級相当以上の英語力を資格要件化、現職教員に対する外部検定試験の受験促進

③ 児童生徒が、外国語指導助手(ALT)など外国人との交流により、「生きた英語」に触れながら実際に英語を使用する機会を提供

具体的な達成目標

生徒の英語力

英検3級程度以上
徳島県中3生...60%

英検準2級程度以上
徳島県高3生...60%

教員の英語力・指導力

英検準1級～、TOEIC730点～、TOEFLiBT80点～
中学校の教員...60%
高校の教員...80%

授業中の英語使用(発話)50%以上
中・高の教員...100%